

拠出金名:国際開発教育・研究機関拠出金

国際機関等名	アジア工科大学院 (英文名称・略称) Asian Institute of Technology (AIT)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	(その他)		
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局国別開発協力第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	12,603	114		1\$=111円	(2006年) 3.8	100
平成17年度	15,754	147		1\$=107円	(2005年) 3.7	100
平成16年度	32,098	292		1\$=110円	(2004年) 4.6	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算)		
1位	スウェーデン	4,195	33.5	当該年度の収入 1,190,764ドル		
2位	タイ	3,838	30.6	当該年度の支出 1,074,210ドル		
3位	カナダ	1,246	9.9	次年度への繰越 116,554ドル		
4位	フィンランド	945	7.5	会計検査機関名		
5位	ノルウェー	889	7.1	内部:監査委員会 KPMG		
上記の率及び順位は2006年のもの				(現在の構成員の出身国:タイ)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
東南アジア地域においては土木工学分野等の技術者が不足しており、AITは、この地域における同分野の優秀な人材の育成を行っている重要な機関として評価している。また、AITには日本人教官が多数参画しており、日本との関係でも、「日本の顔が見える」国際機関であると評価できる。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2005年に就任したイランドウースト学長のもと、AITの経営改革を進めている。支出削減努力の結果、赤字が以前より改善している点、評価出来る。						
邦人職員数 うち幹部以上	2人(常勤教官数) 幹部以上 0人 (事務局には邦人は0名)	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	102人(教官数) 2%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
我が国の拠出金で「ジェンダーと開発」講座の運営費の一部を負担しており、同講座の邦人教官就任を支援している。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

また、拠出率は、AITベース。ノン・キャッシュも含む。